

バスチャンの小屋

バスチャンは 17 世紀の日本人伝道者で、2 つのことで有名です。1634 年、彼は日本の旧暦に合わせた教会暦を編纂しました。この教会暦は潜伏キリシタンたちが使った典礼暦となりました。また、彼は 7 世代後（約 230 年後）にキリスト教が解禁されることを示唆する 4 つの予言を残しました。そして、これらの予言は事実となりました。

バスチャンの生涯についてはほとんど何も知られていません。彼は長崎半島の真ん中あたりに位置する布巻で生まれ、人生の大半を捕まらないように場所を転々としながら潜伏して過ごしたと考えられています。こけら葺きの屋根がついたこの素朴な石造りの建物は、かつてバスチャンが身を潜めていた小屋の跡地に復元されたものです。

映画監督のマーティン・スコセッシは、2016 年に公開された映画『沈黙』の取材のために外海地域を訪れた際、この小屋に非常に感銘を受け、撮影のためにこれによく似た建物を建てさせました。その建物は、外海（映画ではトモギ村とされる）集落のキリシタンたちのリーダーの家として使われました。